



オリンピックから学ぶこと

校長 羽田野庸史

いよいよ2学期が始まりました。夏休みに入る前は、水不足が心配されましたが、夏休みに入ると、各地で記録的大雨が降ったり、トリプル台風が発生したりするなど、異常気象に悩まされました。そんな中、東町小の子供たちは、大きな事故もなく、新たに14名の転入生を迎え、元気にそろって2学期を迎えることができました。

P T Aや地域の方々には、1学期終業式後の「水遊び」に始まり、ラジオ体操など、夏休みの間、子供たちをお世話いただいたり、見守っていただいたりして、ありがとうございました。

学校では、夏休み中、夏季水泳、夏季補習、サマースクールその他、5年生が7月27日(水)～29日(金)まで榛名夏季学園に行きました。前日までの雨と当日の濃霧のため、榛名富士登山ができなかったのは、残念でしたが、楽しい夏季学園にするために、みんなが自分の役割を果たすとともに、一人一人が確実に5分前行動を行い、成長を感じることができました。

また、今年は、リオデジャネイロ・オリンピックに沸いたご家庭も多いのではないのでしょうか？人それぞれに感動した場面や印象に残った場面は違うことと思いますが、もし子供たちへの教材にするという視点で考えるならば、私は、陸上男子400mリレーの日本チームを挙げます。日本チームの劣勢は、明らかでした。4人とも9秒台を揃えたジャマイカチームとアメリカチーム、100m個人決勝にも進出するなど実力者が揃ったカナダチームと中国チーム。しかし、日本チームには、9秒台を出した選手も100m個人決勝に進出した選手も一人もいませんでした。日本チームは、メダル争いに絡めればよいところでした。しかし、日本チームは、バトンパスの技術を高めることに活路を見出し、練習を重ね、見事に銀メダルを勝ち取りました。

自分が目指すものの前にこれほどまでに大きな困難が立ちわだかまった時、立ち向かう勇気をもつこと、そして、その困難を打ち破るためには、ただ頑張ればよいのではなく、できるだけ具体的な目標を掲げ、具体的に取り組んでいくことで、道は開けてくることを子供たちに学んでもらうには、最適の教材になることと思います。

2020年の東京オリンピックに向けて、オリンピックを意識した授業や活動も取り入れていきます。2学期も東町小の教育活動へのご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

9月 行事予定

日	曜	行事等	放課後遊び
1	木	始業式 大掃除 給食始 安全指導	なし
2	金		2～6
3	土	引き渡し訓練	なし
4	日		
5	月	委員会 夏休み作品展始	4～6
6	火		3～6
7	水	水泳記録会 4時間授業(6年生をのぞく)	なし
8	木	音楽朝会 保護者会(1・2・3・5年)	4～6
9	金	着衣水泳(5・6年) 水泳指導終	2～6
10	土	日本文化	なし
11	日		
12	月	プール納め朝会 クラブ 計測(2・5年)	4～6
13	火	計測(3・6年)	3～6
14	水		なし
15	木	児童集会 保護者会(4・6年) 学校保健委員会	4～6
16	金	計測(1・4年)	2～6
17	土	地域祭礼 東町町会みこし	
18	日	東町町会みこし	
19	月	敬老の日	
20	火	4時間授業 研究授業(5年2組 5校時目)	3～6
21	水		なし
22	木	秋分の日	
23	金	4時間授業 六本木中学校説明会(6年生参加)	なし
24	土		
25	日		
26	月		4～6
27	火	プラネタリウム見学(4年)	3～6
28	水	4時間授業	なし
29	木	委員会発表(集会・保健・給食)	4～6
30	金		2～6

9月の生活目標

生活指導主任 三根 博喜

朝や帰りのあいさつを自分から進んでみましょう。

長沼健さんという、日本サッカー協会会長を務めた人がいます。「一流のサッカー選手は必ずあいさつが上手だ。」と彼は言いました。すると、ある人がこう尋ねました。「あいさつができなくてもサッカーが一流になった人はいるでしょう？」長沼さんはこう答えました。「いや、今まで7千人以上のサッカー選手を育ててきたが、一流になった選手は必ずあいさつが上手だった。」

挨拶ができるというのは、人と上手に付き合えるということと言えます。人に素直に教えを乞い、身の回りの事柄を一つ一つきちんとこなしていくことによって、初めて力がつくものだとすることを象徴した話です。